

8月20日

修院長教会博士ベルナルド

Bernard of clairvaux

(1090頃～1153)

～フランスの修道院長～

<人名事典などでの別表記：ベルナルドゥス>

ベルナルドはフランスの神秘思想家で、修道院長、また教会博士でもあります。

彼はディジョン近くにある、貴族の裕福な家庭で生まれ育ちました。しかし、22歳の時、聖なる生活によって神に生涯をささげる決心をし、ベネディクト会のシトーの修道院に入ることを決めます。当時のシトー会は労働と禁欲を厳守して、修道院改革の中心的な役割を担っていましたが、そのあまりの厳しさの故か、修道院は1つしかありませんでした。

ベルナルドはシトー会に、4人の兄弟や貴族をはじめとする友人30人をさそい、共に入会します。さらにその後、ベルナルドの父と弟も続いて入会したことで、シトー会（トラピスト会）は大きく発展していきます。

ベルナルドがシトー会に入会して二年後、当時の院長は、新しく分会をつくるためにベルナルドと12人の修道士をオーブの人里離れた溪谷に派遣しました。その溪谷は明るい谷（Clair-vaux：クレルヴォー）と呼ばれ、そこに修道院を創立した彼はその修道院長となり、死ぬまでその勤めをおこないます。



「クレルヴォーの
ベルナルドゥス」

その修道院での厳格な生活や、ベルナルドの説教によって、クレルヴォーの名声は高まり、フランスからイギリスにいたるまで、68の新しい修道院が建てられます。さらに、ベルナルドの影響は修道院内にとどまらず、教皇の選挙時には教会の分裂を阻止したこともありました。また彼の弟子の中から教皇エウゲニウス3世が誕生し、教会改革を強く呼び掛けることとなります。なお、エウゲニウス3世が教皇になったときにベルナルドは彼にこのように書き送りました。

「今まであなたを子と呼んでいましたが、もうそれはいけません。子は父となりました」。

この後、ベルナルドはキリスト教界に強い影響力をもち、第二回十字軍にも彼の力が大きく働いたと言われています。

<特禱>

全能の神よ、あなたは主のしもべ、修院長教会博士ベルナルドの教えによって公会を照らして下さいました。どうか天の恵みをもって公会をますます豊かにし、忠実な証びとを起して下さい。その生活と教えに倣い、わたしたちがすべての人に救いの真理を宣べ伝えることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン